

○3番 三浦莉音菜君

行橋小学校6年、三浦莉音菜です。まず、ユニバーサルデザインについて質問します。

私の学校では小学4年生のときにユニバーサルデザインの学習をします。なので、体の不自由な人やけがをしている人のために、私の学校にあるエレベーターや手すり、スロープなどがとても大切だと思いました。

しかし、エレベーターがない学校もあるらしいです。私は、他の小・中学校でもこういったユニバーサルデザインを設置するといいと考えました。また、ユニバーサルデザインの学習を4年生以外にも勉強し、日ごろから困っている人を助けることを皆が心がけるような行橋市にしたいです。執行部は、どのようにお考えでしょうか。

○後半議長 渡部稜君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

お答えいたします。このユニバーサルデザインという視点は、本当に重要だと思います。ユニバーサルマナーというのもありまして、外国の方、ご高齢の方、障がいのある方、様々な方々が市民の皆様方の中にはいらっしゃいますので、あらゆる市民の皆様方に対応できるように、それらがユニバーサルマナーであり、また同じような概念が、このユニバーサルデザインでございます。

誰もが暮らしやすい社会をつくっていくと、そういったうえでのハード面ですね、建物などを、よりどなたにとっても使いやすい環境をつくるということは、当然ながら重要だと考えております。

いま現在、行橋市も例えば徐々にですけれども、学校の蛍光灯もLED化していております。これは経済的な観点だけではなくて視覚的な配慮も含まれております。

エレベーターの設置ですが、こういったものは各学校にできればと思っておりますけれども、実際のところ、いま現在としましては、全ての学校にできているわけではございません。圧倒的に少数でございます。

昨年度に行橋北小学校体育館のリニューアル工事をしたのですが、この時には、スロープを新しくつくるなどしてバリアフリー化等を図っております。建物の工事のタイミングなどもありますので、そういったものを考えていきながら、今いただいたユニバーサルデザインというものもしっかりと入れていきながら、工事を進めてまいりたいと思っています。以上です。

○後半議長 渡部稜君

三浦議員。

○3番 三浦莉音菜君

丁寧な回答を、ありがとうございました。

そして、今から行橋市に建設予定の建物にユニバーサルデザインを最初から取り入れることを考えてみてほしいです。ご検討をよろしくお願いいたします。

○後半議長 渡部稜君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

お答えいたします。改めましてですが、今回、室内型の遊び場をつくる計画をいま進めておりますけれども、こちらもインクルーシブ、障がいのあるお子さんも、ないお子さんも、そういった視点も入れた施設となっております。

学校につきましてもインクルーシブ、そしてユニバーサルデザイン、こういったものは大変重要であると考えております。エレベーターやトイレもそうですし、そういったものを確実に、学校をはじめとする公共施設に整備していけるように、鋭意努力してまいります。以上でございます。

○後半議長 渡部稜君

三浦議員。

○3番 三浦莉音菜君

ありがとうございました。次の質問に移ります。

次に、節水についての質問をします。私は、行橋市が使用している油木ダムの貯水率がとても低いことをテレビで知りました。なので、地球の資源を大切にすることでなく、家計にも役立ち、水道代の節約やCO₂削減、電気代の節約にもつながる節水を、行橋市で呼びかけるといいと思います。

行橋市は、どのような節水の取り組みを行っていますか。

○後半議長 渡部稜君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

お答えします。三浦議員が今おっしゃったこと、いわゆるSDGsの観点からも大変重要だと思っております。

まさにお水を、行橋市は、議員からお話がありました、上水道のうちの84パーセントを油木ダム、16パーセントを伊良原ダムを水源としているわけですが、今川の油木ダムが、ことしも60パーセントを切ったくらいですね、一昨日で59パーセントとなっていますから、去年は97パーセントほど、この時期にありましたから、かなり低い状況なんですよ。

ですので、この水源を多様化する。いま油木ダムと伊良原ダムしかないところを北九州市からお水をいただくことによって水源を3つにする。そうすることで渇水、水がなくなってしまうことのリスク、危険・危機といったものを防ぐという事業を、今まさに進めているところでございます。

これは水がなくならないようにというところでございますけれども、その他にも節水に関しましては、これまでもそうですが、これからも市民の皆様方に可能な限り、まず広報などを使って、必要なときは節水の呼びかけをさせていただきたいと思います。

また、いま現在も水が減ってきているんですけれども、そうなってきたときに、実は農家さん、今川の水や油木ダムの水というのは、油木ダムから今川に流れてきて、農家の方々も、特にお米を作るときなどに水を多く使います。そういったところで、水利に携わっている農業関係者の方々にも実は水の使い方、ご協力をいただいているところでございます。

その他にも様々なかたちで節水対策が考えられますけれども、例えば学校の水の使い方などもそうですね。またご家庭でもお風呂の水の使い方等々あるかと思いますが、ホームページにこれまでもうたってまいりましたけれども、さらに市民の皆様方に知っていただけるように、適切なタイミングで広報・啓発に努めてまいりたいと思います。以上です。

○後半議長 渡部稜君

三浦議員。

○3番 三浦莉音菜君

私は、節水の大切さを行橋市に広めるために、節水の大切さを書いてあるポスターを配ったり、イベントを開催したり、行橋市の小・中学校で節水のことを学ぶ授業を増やすなどといったことをするのいいと思いました。ご検討をよろしくお願いいたします。

○後半議長 渡部稜君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

大変心強いご提案をいただきました。ぜひ、そういった機会がつくれたらなと思いますし、喜んで、というふうに思っておりますので、これからまたご協力、またアドバイスをお願いいたします。以上です。

○後半議長 渡部稜君

三浦議員。

○3番 三浦莉音菜君

ありがとうございました。以上で質問を終わります。